

Technowood®

PTS NEO

人工心肺用回路



体外循環実習製品

臨床工学技士養成校様向けの未滅菌製品



メイン回路

カタログ番号: 17001

現在、臨床では5割近くがプレコネクト回路と呼ばれる人工肺に既に接続された回路が使用されていますが、弊社では血液の流れを把握しながらの基本的な接続体験は有益であると考えます。

本回路は日本体外循環技術医学会(通称:JaSECT)材料員会規定に基づいてチューブの色分けや、心筋保護回路、分離回路、また人工肺交換時の接続等を標準化した回路となっております。

※ポンプ送血及び遠心送血の両方に対応しております。

※メイン回路以外にもご提案可能です。弊社担当営業にご相談下さい。



生体疑似バッグ

カタログ番号: 17010

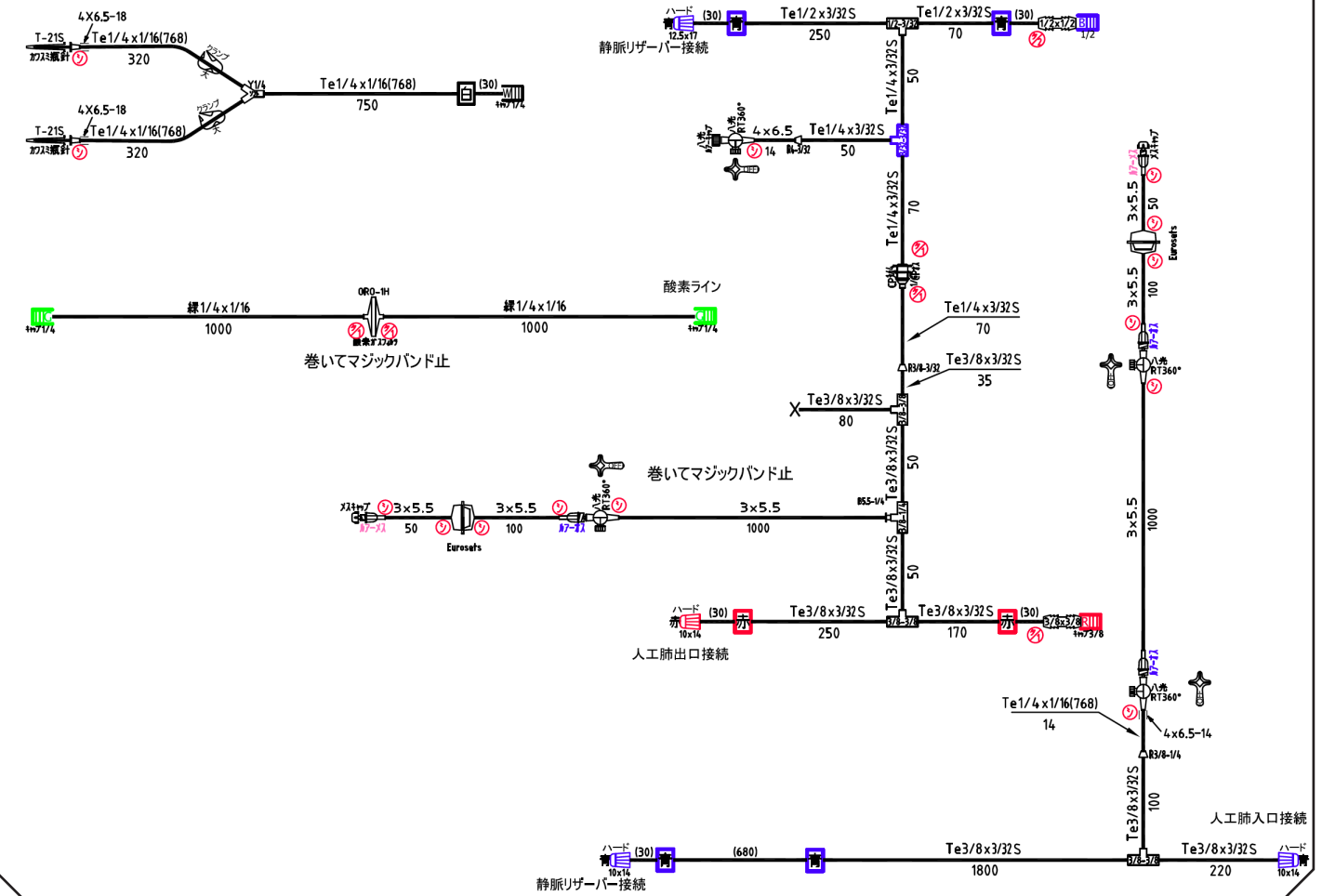
生体疑似バッグは日本胸部外科学会において、最初にハンズオンセミナーで使用された設計を参考にしております。

脱血/送血側を3/8チューブとして、Y字菅で分岐していますので、吸引/ベント、その他ラインとしてご使用が可能です。

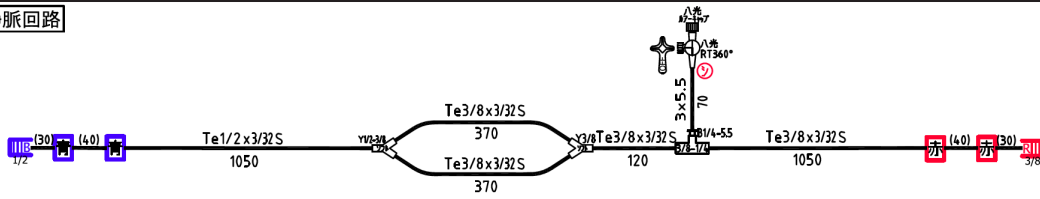
静脈リザーバー液面の調整により、実際の体外循環のようにボリューム管理が可能です。



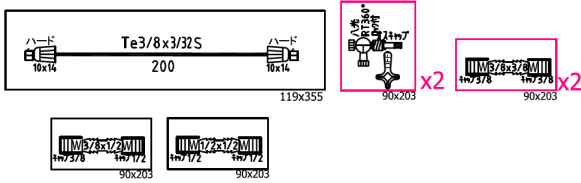
① 器械側回路



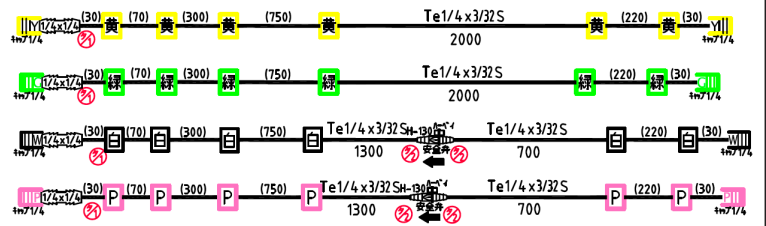
② 術者側動静脈回路



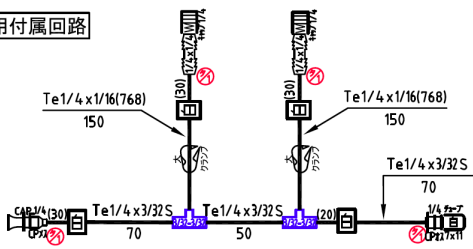
③ 付属回路



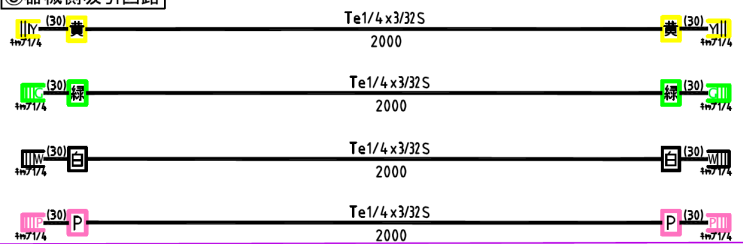
④ 術者側吸引回路



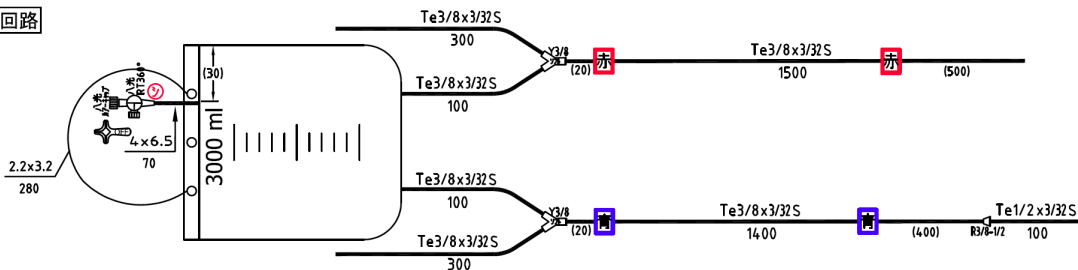
⑥ 分離用付属回路



⑤ 器械側吸引回路



⑦ 術者側人体模擬回路



オプション品でさらに使いやすく

ハードコネクター

ハードコネクターは体外循環では主にカニューレとの接続に使用されます。また、アクシデントや一時的な回路構成変更等にも使用されます。下表の中からご選択下さい。

*規格	接続可能 チューブ内径
3/16	4mm (3/16in)
1/4	6mm (1/4in)
3/8	10mm (3/8in)
1/2	12mm (1/2in)
	※10入り/箱



カタログ番号	種類	規格
EU3321BULK	ストレート	3/16
EU3318BULK	ストレート	1/4
EU3319BULK	ストレート	3/8
EU3320BULK	ストレート	1/2
EU3329BULK	ストレートルアー付き	3/16LL
EU3326BULK	ストレートルアー付き	1/4LL
EU3327BULK	ストレートルアー付き	3/8LL
EU3328BULK	ストレートルアー付き	1/2LL
EU3335BULK	ストレート異径	3/16 x 1/4
EU3330BULK	ストレート異径	1/4 x 3/8
EU3331BULK	ストレート異径	3/8 x 1/2
EU3302BULK	Yコネクター	1/4 x 1/4 x 1/4
EU3303BULK	Yコネクター	3/8 x 3/8 x 3/8
EU3306BULK	Yコネクター 異径	3/8 x 1/4 x 1/4
EU3307BULK	Yコネクター 異径	1/2 x 3/8 x 3/8
EU3308BULK	Yコネクター 異径	3/8 x 3/8 x 1/4

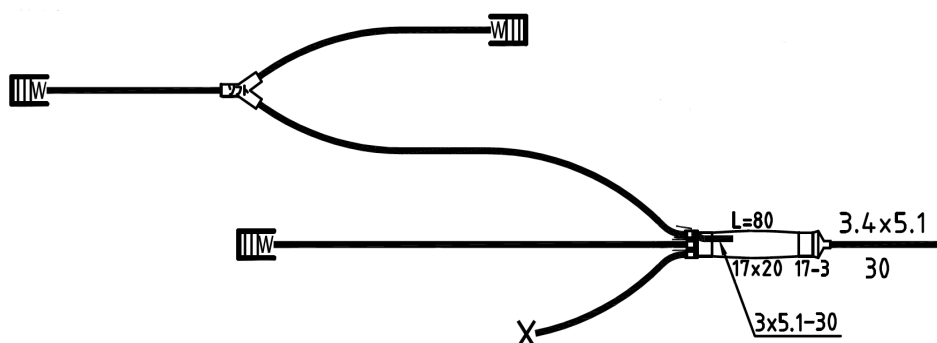
VAVD用チャンバー

カタログ番号: 17013

MICS (Minimally Invasive Cardiac Surgery) の登場で従来の正切開から肋間小開胸となることで、従来の落差脱血からVAVD (Vacuum Assisted Venous Drainage) 陰圧吸引補助脱血が主流となりつつあります。

VAVDを行う際には、過去の事故の経験から日本心臓血管外科学会・日本胸部外科学会・日本人工臓器外科学会・日本体外循環技術医学会により結露防止のためのチャンバーの設置が義務づけられており、弊社ではコンパクトなチャンバーと接続チューブ一体型の商品をご用意しております。

※ハードシェル静脈リザーバー及びVAVD装置へのラインは全て内径1/4チューブとなります。



落差ベント回路

カタログ番号: 17011

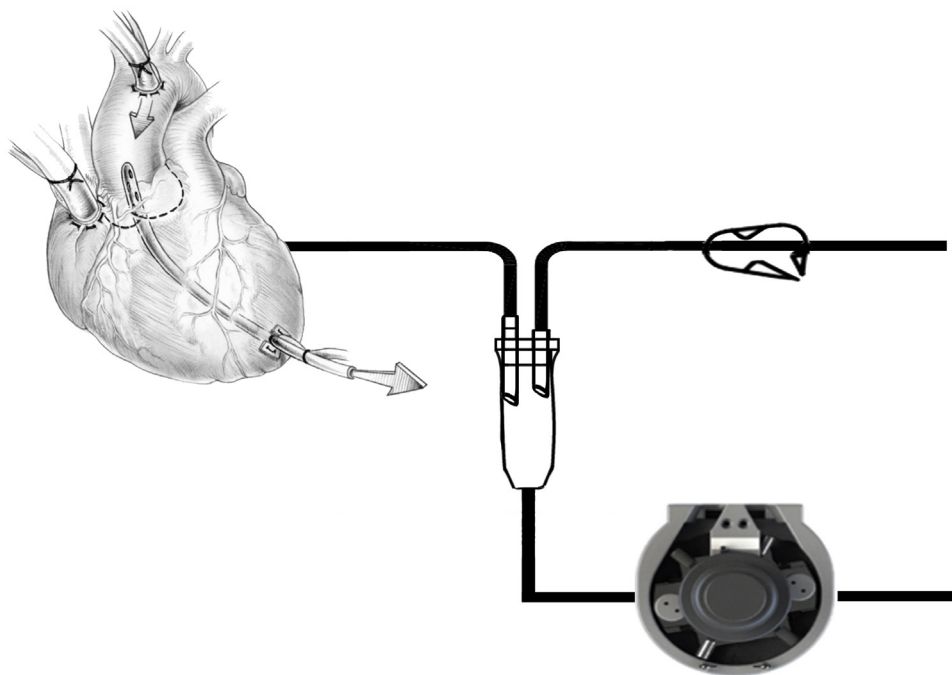


ベントは体外循環での重要な処置です。心内操作の際、無血視野の確保およびオーバディステーション(心室の過伸展)の防止として使われます。

本製品は下図の様に落差ベントとポンプベントの選択が可能となります。

落差ベントは心腔内の過度な陰圧を防止することが可能で、チャンバー内にある血液のみを吸引する事が目視で出来ます。

※本製品は複数施設で現在も使用されております。



トリプルフロー

カタログ番号: 17012



脱血調整回路

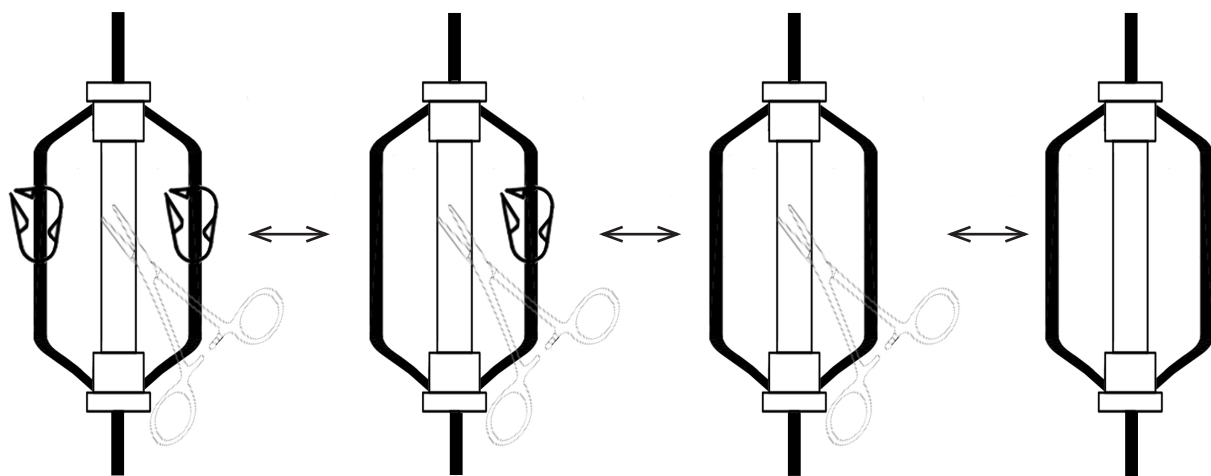
体外循環開始前: 主幹 + 側幹を全てクランプ

開始時: 側幹⇒主幹の順にクランプ解放

終了時: 主幹⇒側幹の順にクランプ

※ 主幹をクランプすると約50%の流量が制御され
側幹は1本クランプすると約25%の流量制限となります。

※ 流量制限量はあくまで目安ですので、実際の
体外循環ではリザーバーレベルを確認しながら
操作して下さい。



開始時 →

← 終了時

エアレスバック

オクルージョン調整回路

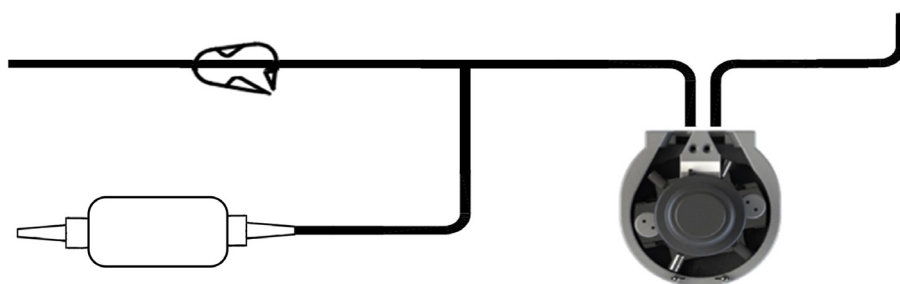
カタログ番号:
大:17014 中:17015

ローラーポンプでのオクルージョン調整は吸引、ベント、心筋保護、脳分離と複数のポンプで調整が必要です。JIST1603血液ポンプ基準に示されるオクルージョン調整は医療現場では難しく、海外では圧力の測定を行う事で簡易に行う施設もあります。

本製品はポンプ脱血の際に広く使用された「エアレスバック」の応用製品で、バックの潰れ具合でオクルージョン調整をより簡単に行える製品となります。

※ご使用にはローラーポンプ入口側チューブにルアーポートの設置が必要となります。

※回路接続部ルアーオス



製造販売元

テクノウッド株式会社

〒123-0872 東京都足立区江北4-30-19
代表: 03(3856)4111 Fax: 03(3856)4113

カスタマーサービス: 03(5647)3925
Fax・フリーダイヤル: 0120(322)571

www.technowood.co.jp

